

《高校在学中に日本学生支援機構の給付奨学金を申込んだ方へ》

①支援区分の確認方法

「採用候補者決定通知」の「選考結果」欄を確認してください。

支援区分を確認

1. 申込内容及び選考結果		貸与奨学金		
申込内容	給付奨学金	併用貸与・第一種奨学金・第二種奨学金の審査を希望する	入学時特別増額貸与奨学金	
	希望する		希望する	希望する
選考結果		給付奨学金(※1)	貸与奨学金	
	候補者決定 第Ⅰ区分(多子世帯)		ア〜ウのうち、「候補者決定」と記載のものを1つだけ選択できます	
		ア: 併用貸与 候補者決定	イ: 第一種奨学金 候補者決定	ウ: 第二種奨学金 候補者決定
要件・必要書類の提出等	国籍・在留資格等	○	○	○
家計	収入に関する基準	○	○	○
	資産に関する基準(※3)	○	○	○
	学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○
	高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○
	マイナンバー手続き・確認書等	○	○	○
	その他必要書類	○	○	○

②支援区分別の支援内容

◆多子世帯支援の対象者でない場合

支援区分 (1子・2子世帯)	入学金減免	授業料等減免(年額)	給付型奨学金(月額)	
			自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	納付すべき入学金に応じて 110,000~220,000円	納付すべき授業料に応じて 370,000~700,000円	38,300円 (42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分	納付すべき入学金に応じて 73,400~146,700円	納付すべき授業料に応じて 246,700~466,700円	25,600円 (28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分	納付すべき入学金に応じて 36,700~73,400円	納付すべき授業料に応じて 123,400~233,400円	12,800円 (14,200円)	25,300円

※給付型奨学金自宅通学の()内の金額は、生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人の金額です。

◆多子世帯支援の対象者である場合

支援区分 (多子世帯)	入学金減免	授業料等減免(年額)	給付型奨学金(月額)	
			自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 (多子世帯)	納付すべき入学金に応じて 110,000~220,000円	納付すべき授業料に応じて 370,000~700,000円	38,300円 (42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分 (多子世帯)			25,600円 (28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分 (多子世帯)			12,800円 (14,200円)	25,300円
第Ⅳ区分 (多子世帯)			9,600円 (10,700円)	19,000円
多子世帯 授業料等減免のみ			0円	0円

※給付型奨学金自宅通学の()内の金額は、生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人の金額です。

③上記「支援区分別の支援内容」に記載のない支援区分の方へ

・「第Ⅳ区分私立理工農 授業料等減免のみ」と記載されている方

本学は文部科学省が理工農系支援の対象とする学部・学科ではないため、給付奨学金及び授業料等減免の支援を受けることはできません。給付奨学金と併せて、貸与奨学金の採用候補者となっている場合や、新たに貸与奨学金の申込みを希望する場合等、説明会への参加が必要になることがありますので、以下を参照してください。

▶給付奨学金及び貸与奨学金の採用候補者 → ③の説明会（4月4日（土））に参加

▶給付奨学金のみ採用候補者 → 4月4日（土）の説明会への参加は**不要**

▶新たに貸与奨学金を申し込む → ①の説明会（4月6日（月））に参加

※日時等の詳細は「奨学金の手続きについて」を参照してください。

・「第●区分（多子世帯） 授業料等減免のみ」と記載されている方

給付奨学金の支援は受けられませんが、授業料等減免の支援を受けることができます。

支援内容は以下のとおり、「多子世帯（授業料等減免のみ）」と同様です。

支援区分 (多子世帯)	入学金減免	授業料等減免(年額)	給付型奨学金(月額)	
			自宅通学	自宅外通学
多子世帯 授業料等減免のみ	納付するべき入学金に応じて 110,000~220,000円	納付するべき授業料に応じて 370,000~700,000円	0円	0円

進学手続きを行う必要がありますので、④の説明会（4月4日（土））に参加してください。

※日時等の詳細は「奨学金の手続きについて」を参照してください。